

チュチュをとりました。そのとき、光がバレエを照らしました。



B comme Bejart

ベジヤール、バレエ、リュミエール

2002年ヴェネチア国際映画祭特別招待作品

監督：マルセル・シューバッハ 出演：モーリス・ベジャール、ジル・ロマン、エリザベット・ロス、小林十市、クリスティーヌ・ブラン、ジュリアン・ファヴロー、オクタヴィオ・スタンリー、モーリス・ベジャール・バレエ団
2002年/スイス/95分/ビスタ/ステレオ 協力：NIMES Le petit Bleu 後援：スイス大使館 配給：日活 www.bcommebejart.com

Réalisé par Marcel Schüpbach Image EHUD GOREN Son ERIC GHERSINU Montage DAVID MONTI Mixage THOMAS GAUDER Une production CAB PRODUCTIONS en coproduction avec la Télévision Suisse Romande une entreprise de SRG SSR idte suisse, RTBF (Télévision belge), K2, ARTE G.E.L.E, Rhône-Alpes Cinéma, avec le soutien de Succès Passage Antenne, UBS Kulturstiftung, Fonds Régio, L'Etat de Vaud (Service des affaires culturelles)

www.bcommebejart.com

ベジャール、バレエ、リュミエール

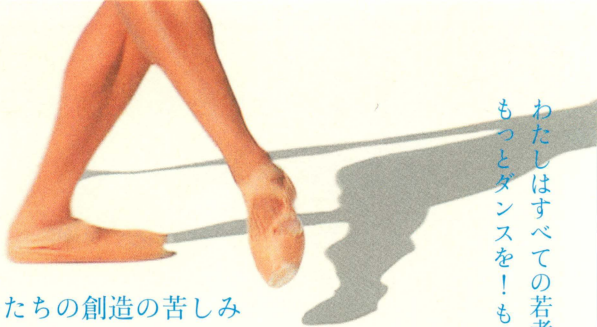
振付家とダンサーのバレエへの純粋な想いは、忘れていた大切なものを教えてくれる

20世紀後半、バレエに新しい光を注ぎ、その革新的な創作の数々でセンセーションを巻き起こした天才振付家モーリス・ベジャール。日本でも、映画『愛と哀しみのボレロ』(81)でジョルジュ・ドンの踊る名作「ボレロ」が大きな話題を呼んだこともあり、バレエ・ファンならずとも彼の名を知る人は多いだろう。「ベジャール、バレエ、リュミエール」は、舞台「リュミエール」公演初日までの半年間を追い、華麗な舞台の裏側にあるベジャールとダンサーたちのバレエへの愛と創造の喜び、そして苦悩を描きだす感動のドキュメンタリー作品である。

本番が近づく中、二転三転する衣装合わせ、悪天候のせいではたびたび中断される屋外リハーサル、楽屋で一人静かに苦悩するベジャールの顔。喜びも悲しみもすべてを受け入れ、人生の全てをバレエに懸けるベジャールの熱い想い、その想いを受け取り表現しようとするダンサーたちの苦悩。舞台に関わる様々な人たちの情熱がひとつになり、新たなバレエが舞台に現れる瞬間を目にしたとき、ひたむきに努力し、何かに無償の愛を捧げることの美しさに心酔しれる。

バレエの舞台裏にあるのは、ベジャールの情熱とダンサーたちの創造の苦しみ

2001年6月に、リヨンのフルヴィエール・ローマ円形劇場で1万5千人の観衆を前に初演された、舞台「リュミエール」は、“リュミエール=光”をコンセプトに、映画、そしてバッハ、バルバラやジャック・ブレルのシャンソンなどを重層的に織り交ぜて構成していくベジャールならではの壮大なバレエだ。普段は決して見ることのできないバレエ団の舞台裏を60時間以上のカメラを回しながら、ドキュメンタリーの分野で活躍するスイス出身のマルセル・シュバツァ監督は鋭く迫っていく。常にベジャールと1対1で向き合い、汗だくになりながら振付を形にしてゆくダンサー兼副芸術監督としてカンパニーを索引するジル・ロマン。ブレルの「行かないで」をバックに踊るエリザベット・ロスのダンスは圧倒的な存在感を見せつける。日本でも人気のジュリアン・ファヴロー、少女のような魅力のクリスティーン・ブランや、ルードラ出身の日本人ダンサー、長谷川万里子と那須野圭右の姿も見られる。昨年引退を発表した小林十市が踊る姿もファンの興味をかきたてるだろう。新しい舞台を生み出すアーティストたちのストイックかつ情熱的な姿には感動せずにはいられない。



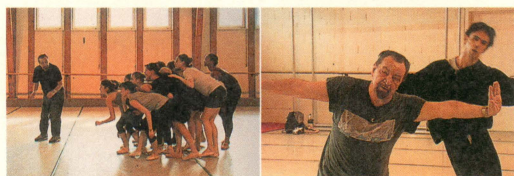
わたしはすべての若者にこう言いたい。
もつとダンスを！もつともつとダンスを！！

モーリス・ベジャール



モーリス・ベジャール Maurice Béjart

1927年1月1日生まれ。フランス出身。「春の祭典」や故ジョルジュ・ドンによる「ボレロ」などバレエ史上に残る傑作を生み出し続ける20世紀を代表する振付家。日本との関わりも深く、坂東玉三郎は複数のベジャール作品に出演しており、また黛敏郎、三宅一生、横尾忠則らが創作に力を貸し、市川猿之助とは二十年以上前から親交を結んでいる。本年、東京バレエ団の名誉芸術顧問に就任。



稽古場で身体に振りが入っていく瞬間…
僕の一番好きな時間だ。
この作品を見て、
そんな稽古場の幸せな時間が蘇ってきた。

——東京バレエ団ダンサー 首藤康之



2002年/スイス/95分/ビスタ/ステレオ/日本語字幕:斎藤敦子
協力:NIMES Le petit Bleu 後援:スイス大使館 配給:日活
www.bcommebejart.com

ベジャールの世界を体現する、2つのバレエ団の公演決定!!

東京バレエ団 ベジャール・ガラ

首藤康之、最後の「ボレロ」 3/30 31/4/1 3 4
Aプロ☆「バトル・シュカ」「ギリシャの踊り」「ボレロ」 火 水 木 土 日
世界中を魅了したベジャールの歌舞伎 15:00 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
Bプロ○「ザ・カブキ」 18:30 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

問い合わせ先:NBSチケットセンター tel 03-3791-8888 会場:ゆうほうと簡易保険ホール
大阪国際フェスティバル 4/6(火)18:30「春の祭典」「ギリシャの踊り」「ボレロ」
問い合わせ先:大阪国際フェスティバル協会 tel 06-6227-1061 会場:フェスティバルホール

モーリス・ベジャール・バレエ団 2004年日本公演

新しいバレエを切り拓いてきたベジャールが、
いま高らかに謳う人生賛歌!
Aプロ★「海」「これが死か」「バクチI」「バクチII」「バクチIII」 15:00
Bプロ●「魔笛」 18:30

問い合わせ先:NBSチケットセンター tel 03-3791-8888 会場:ゆうほうと簡易保険ホール ※6/19(土)は、よこすか芸術劇場
6/27(日) 14:00「魔笛」 S席 11,000円 A席 9,000円 B席 7,000円 C席 5,000円 D席 売完
問い合わせ先:びわ湖ホールチケットセンター tel 077-523-7136 会場:びわ湖ホール【大ホール】

BÉJART BALLET LAUSANNE
Japan Tour 2004

この夏、光輝く、ロードショー

特別鑑賞券好評発売中 (税込)!!
一般:¥1,500 (当日一般¥1,800の値)



劇場窓口にてお買い求めいただいた方に、ベジャール・バレエ団があるスイスの素敵なお土産ストラップを先着限定でプレゼント!
スイスに行くなら www.myswiss.jp

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト4F
梅田ガーデンシネマ
各回入替制 www.cineplex.co.jp 06(6440)5977
*毎土・日・水曜・祝日、および映画サービスデーは入場整理券を発行*途中入場はご遠慮下さい。
JR大塚駅 徒歩10分